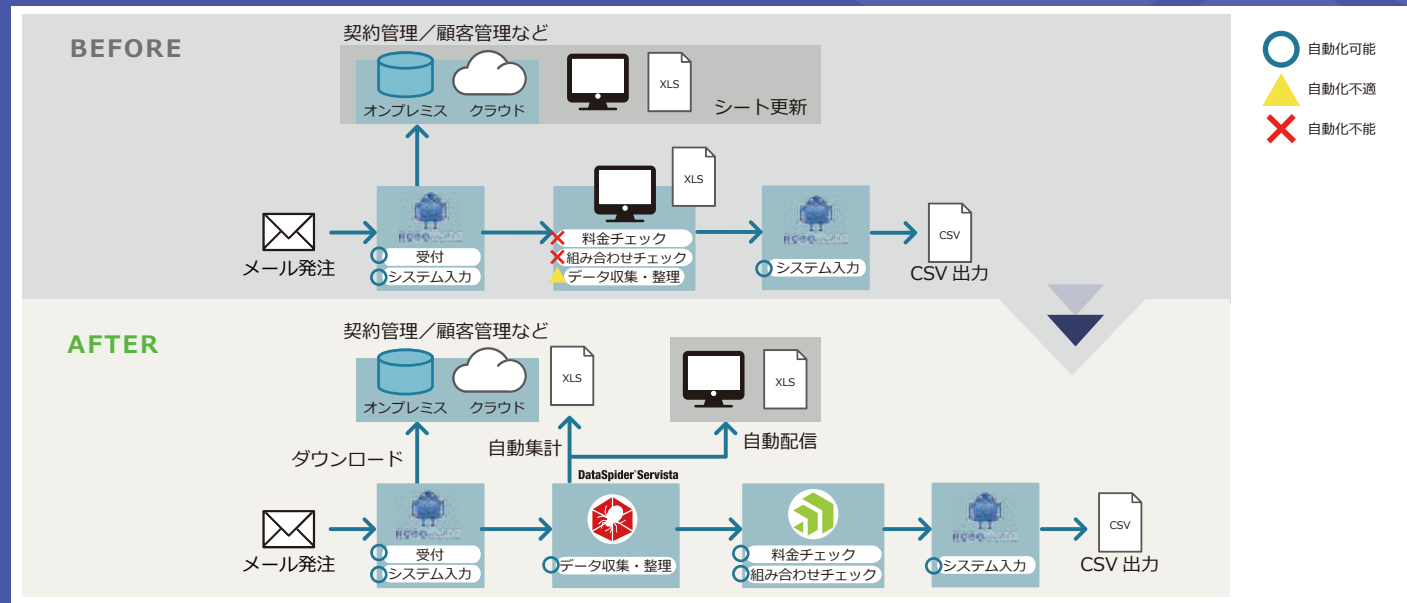


AEDAN 自動化パックを使った見積業務の完全自動化

定型業務の一例として見積業務を自動化した例を紹介します。RPAツールだけを使う場合、料金や見積対象となる商品の組み合わせをチェックするような判断が必要な部分は人が作業する必要がありました。また、データの収集・整理はRPAツールでも自動化できましたが非効率でした。その結果、自動化できる部分が寸断されて業務全体の作業効率が向上できなかったのです。AEDAN 自動化パックを活用すれば、これまで自動化できなかった部分も含めて完全自動化できます。



AEDAN 自動化パックを活用した見積もり業務の自動化例

エンタープライズRPA



AEDAN
Ashisuto Enterprise Decision AutomatiON

自動化パック

定型業務をまるごと自動化して働き方改革を実現

AEDAN 自動化パックを構成する要素技術



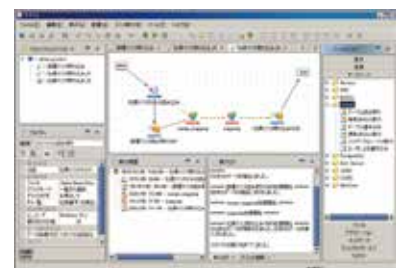
Progress®Corticon® は、業務担当者が蓄積してきた知識や組織の規則をモデル化し、ルールに沿ったデータ加工や確認などの知的作業を自動化する推論型 AI です。データを「割り振る」、「分配する」、「確認する」「算定する」といった、明確なルールに基づく判断業務を自動化（ディシジョン・オートメーション）することで、企業のデジタルシフトは加速し、人が主体的に創造プロセスと定型的判断業務を担うことを可能にします。



Progress®Corticon® のルール作成画面



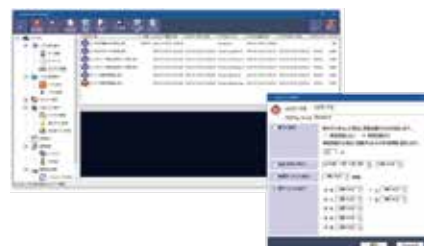
DataSpider®Servista は、50 種類以上のデータソースを自在に結びつけて、一元的に管理・活用できるようにするデータ連携 (EAI) ツールです。企業の内外に散在するデータソースの効率的で効果的な活用を可能にします。データの連携作業や変換・加工作業は、アイコンをドラッグ & ドロップするだけで、直感的に進めることができます。



DataSpider®Servista のデータ連携画面



ROBOWARE (日本総代理店: 株式会社イーセクター) は、開発型 RPA フレームワークです。ユーザーの声を聞きながら、IT部門が、定型の業務処理を詳細な部分まで自動化することができます。ロボットの制御には Ruby や Java など汎用言語を使い、プログラム初級者でも簡単に作成やメンテナンスすることが可能です。このため高価なシステム投資不要で業務効率の向上が図れます。



ROBOWARE の操作手順の管理画面

アシスト

お問い合わせ 株式会社アシスト

TEL : 03-5276-3653

E-mail : progress@ashisuto.co.jp

※予告なく当内容を変更する場合がございます。記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

アシスト AEDAN

アシスト

AED-002 DEC18

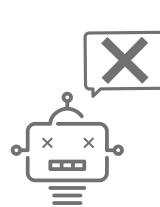
RPAツールを利用できない作業を補完し、 定型業務を完全自動化して「働き方改革」を後押し



「働き方改革」があらゆる業種の企業に求められています。少子化で人材確保が難しくなった現在、従業員の残業を減らしながら企業全体の業務量を維持していくには、ITを駆使した業務効率の向上が欠かせません。こうした背景から RPA (Robotic Process Automation) ツールに注目が集まっています。しかし、RPAツールを適用できる業務は限られており、導入したものの業務効率があまり変わらなかったという声が多いのが現状です。AEDAN 自動化パックは定型業務をまるごと自動化し、思い描く「働き方改革」の実現を後押しします。

「働き方改革」に向けた業務効率の向上を 難しくしている課題

RPA ツールを導入しただけでは「働き方改革」は実現しません。RPA ツールには得意な業務と不得意な業務があるからです。業務効率の向上には、不得意業務を補うツールを併用して自動化できる業務を広げる必要があります。

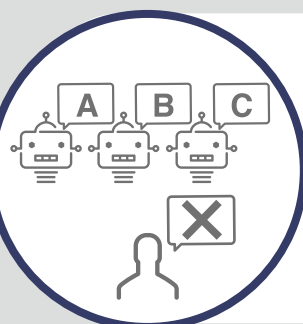


RPAツールは万能ではない

RPA ツールは万能ではありません。確かに、パソコン内での手作業操作は問題なく自動化できます。しかし、業務手順中で何らかの判断が迫られる場合には対応できません。またデータ収集や集計などのように、別ツールの方が効率的な業務もあります。

自動化できる部分が寸断されると効率化できない

定型業務を細かく見ると、多種多様な業務工程が一定の手順で組み合わせられています。一般にはそのうち 60~70% が人の判断が必要な業務工程になります。例え RPA ツールで自動化できる業務工程が数多くあっても、不得意業務がその実行を頻繁に寸断するようでは効率化できません。



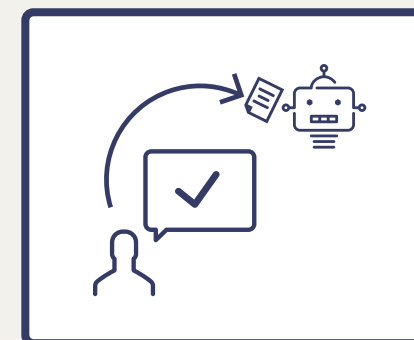
属人的な自動化で企業内での手法統一が困難に

多くの RPA ツールは、エンドユーザー自身が簡単に業務を自動化できる利点をアピールしています。しかしエンドユーザーが各々自動化してしまうと、属人的な自動化手順が散在してしまいます。その結果、企業内で自動化手順の統一が取れなくなり業務品質を均質化できません。

AEDAN 自動化パックが解決！

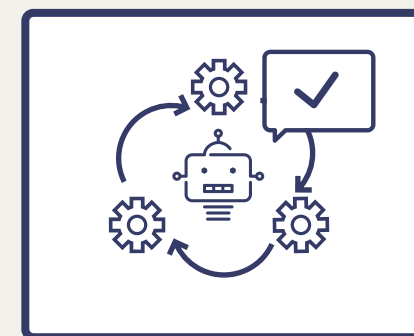
AEDAN 自動化パックならば、人が関与する部分をなくし、担当者が行う定型業務をまるごと自動化できます。また、IT部門による自動化手法の一括管理が可能になり、業務品質を高水準に均質化しながら作業効率を向上できます。

完全自動化で真の「働き方改革」を実現



定型業務に含まれる様々な作業工程の中に、人が関与する部分が含まれない完全自動化こそが、真の「働き方改革」を実現します。完全自動化が可能になることで、付加価値を生まず時間だけを浪費する定型業務をツールに任せ、価値を生み出す仕事に注力できます。また、退社後の無人状態の時間にロボットを動かし、膨大な定型業務を処理することも可能になります。AEDAN 自動化パックを導入した企業の中には、既にこうした成果を上げて「働き方改革」に成功したところがあります。

3つのツールを使い分けて完全自動化



定型業務の完全自動化は、得意な業務工程が異なる複数の自動化ツールを併用し業務内容に応じて使い分けることで、最大の効果を得られます。AEDAN 自動化パックでは、RPA ツールに加え、業務判断を自動化するための推論型 AI と、作業工程間で生じるデータの連携・加工を自動化するツールの3つを使い分けています。RPA ツールには汎用言語によって手作業を自動化する開発型を選択しています。これによって、IT 部門主導の下業務品質の均質化とソフトウェアロボットの集中制御が可能になります。

解決したい課題	「働き方改革」に向けた業務の効率化を阻む課題とその解決策	解決策
RPAツールでは自動化できない業務工程も自動化して業務効率を高めたい	得意な業務工程が異なるツールを併用し、定型業務全体を完全自動化する	
エンドユーザーによる自動化手法の属人化を防いで業務品質を均質化したい	IT部門が自動化手法を管理できる RPA ツールを活用する	
業務プロセスを見直すことなく、今すぐ自動化をしたい	ツールを組み合わせることで既存の業務プロセスをそのまま自動化する	

AEDAN 自動化パックの特長

RPAツールが適用できない業務も自動化

定型業務の完全自動化が可能

IT部門による自動化手法の一括管理が可能で業務品質が均質化

ルール定義とデータの連携ではプログラムが不要

既存の基幹システムに手を加えることなく、定型業務を自動化